

■研修 (国語)科 ヒット授業開発!  
学び合いを生かす授業案を検討しよう

“学び合い”を生かすヒット授業案づくり

## (国語)科のヒット授業案

教科名 国語科

単元・題材名 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字

授業のねらい・目標

同音異義語という言葉の意味を知り、身の回りにある同音異義語を正しく使い分けられるようになる。

(大まかな流れ)

《導入》

- ・教師から「さん」という言葉を発声して提示し、どのような漢字を想像するか発表する。
- ・「訓読み」、「音読み」、「同音異義語」という言葉の意味を確認する。

《課題1 (基礎の課題)》

- ・「あつい」の同訓異義語である「厚い」「熱い」「暑い」の意味を国語辞典を用いて調べ、その言葉を使った例文を考える。
- ・「きょうちょう」の同音異義語である「協調」「強調」の意味を国語辞典を用いて調べ、その言葉を使った例文を考える。

《課題2 (ジャンプの課題)》

- ・身の回りにある同音異義語を班で話し合っ出て出し、それぞれの意味を国語辞典を用いて調べる。

《まとめ》

- ・その言葉を用いた例文を作り、班ごとに発表する。

この授業の見どころ (学び合いをどう生かすかなど)

- ・基礎の課題では、班員の中で調べる言葉を分担するなどして協力して行うことができる。また、国語辞典を用いて意味を調べることに親しみを持ってもらえる。
- ・ジャンプの課題では、班によって様々な同音異義語が出ることが予想されるため、多くの同音異義語に触れることができ、またその使い方について考えることができる。

授業を担当する人

秋山 昂亮